

News Release

2018年11月21日
一般社団法人 日本電機工業会(JEMA)

2018年度 上期の電気機器の状況

一般社団法人 日本電機工業会(JEMA、会長: 柵山正樹)では、2018年度 上期の電気機器の状況を纏めましたので、以下の通りご報告致します。

1. 概要

2018年度上期の世界経済は、全体として緩やかな回復基調が継続しました。中国やユーロ圏はやや減速がみられたものの、米国は着実に回復が続き、景気は持ち直しの動きが継続しました。

わが国経済は、世界経済の回復を受け堅調であり、企業活動の持ち直しが続きました。中長期的にも、緩やかな回復が続くとみていますが、一方で、海外経済や通商問題の不確実性の高まりに注意が必要です。

このような中、重電機器、白物家電機器を合わせた電気機器の2018年度上期生産実績は、2兆7,908億円、前年同期比101.3%となりました。

重電機器の国内生産については、工場の自動化や情報化への投資を背景とした、中国を中心とするアジアでの設備投資の活況により産業用汎用電気機器が好調である一方、発電用原動機は前年同期を下回り、1兆7,183億円、前年同期比99.4%と全体として前年並みとなりました。

白物家電機器の国内生産については、ルームエアコンを中心に堅調に推移し、上期合計は、1兆725億円、前年同期比104.0%と前年同期を上回りました。

また、国内出荷も、今夏は全国的に気温の高い日が続く、ルームエアコン等の主要製品が好調に推移し、1兆3,084億円、前年同期比102.8%となり、上期合計で過去10年の上期実績をみると、国内生産、国内出荷ともに、最も高い金額となりました。

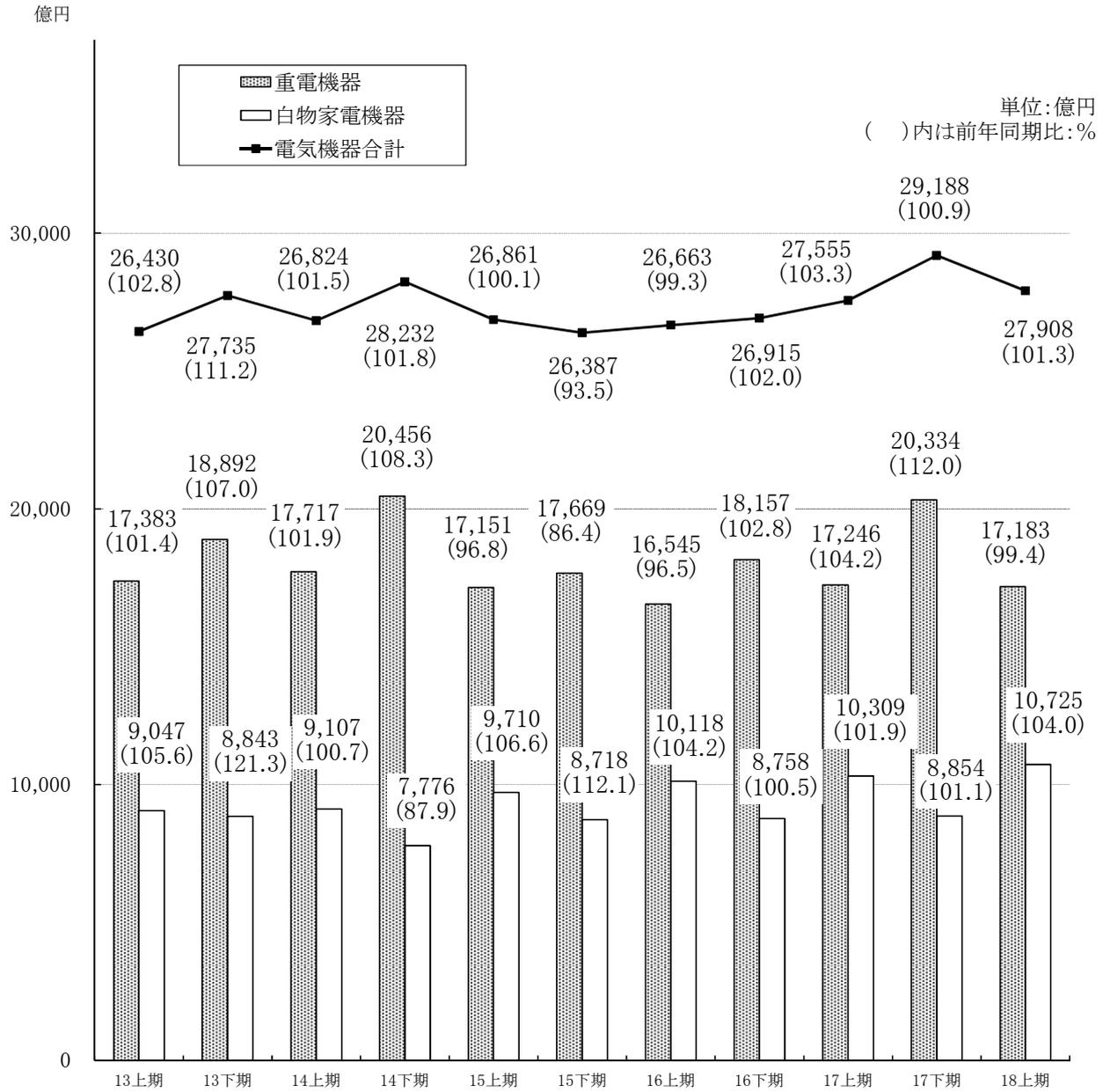
【表1】電気機器の2018年度 上期の電気機器の状況

		2018年度 上期実績		(参考)2018年度 上期見通し (2018年3月時点)	
		金額 (億円)	前年同期比 (%)	金額 (億円)	前年同期比 (%)
国内 生産	重電機器	17,183	99.4	18,924	109.7
	白物家電機器	10,725	104.0	10,307	99.4
	電気機器合計	27,908	101.3	29,231	105.9
白物家電機器国内出荷		13,084	102.8	12,387	97.4

備考: 端数四捨五入のため、積上げ値と合計値が一致しない場合があります。

出所: 経済産業省 生産動向統計(国内生産)

日本電機工業会統計、日本冷凍空調工業会統計(ルームエアコン) (国内出荷)



出所: 経済産業省 生産動態統計

【図1】電気機器の半期別国内生産額推移

2. 重電機器分野

(1) 上期国内生産実績の概要

発電用原動機では、国内電力向けの大型案件がありボイラ、ガスタービンは前年同期を上回ったものの、蒸気タービンは前年同期を下回り、全体としては前年同期を下回りました。

回転電気機械では、サーボモータは半導体及び液晶・有機ELの製造装置向けなど国内及び中国を中心とするアジアでの設備投資の活況により、交流発電機は国内電力向け案件により前年同期を上回りました。一方、交流電動機は昨年度の高水準には至らず、前年同期を下回りました。全体としては前年並みとなりました。

静止電気機械器具では、電力変換装置は産業向け汎用インバータが好調ですが、太陽光向けパワーコンディショナは低調であり、前年同期を下回りました。一方、変圧器は国内の電力向け及び電力以外の製造業・非製造業向けがともに好調であり、前年同期を上回りました。全体としては前年同期を上回りました。

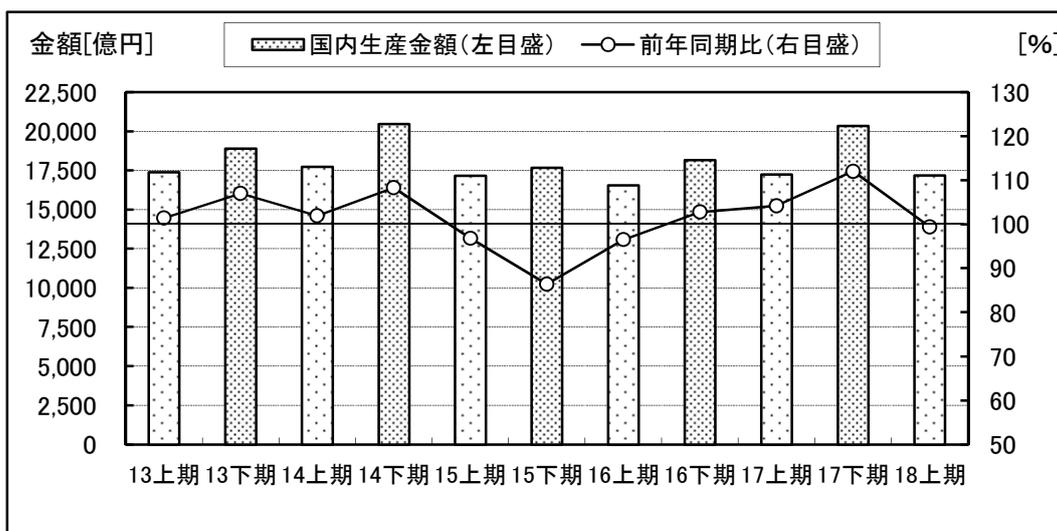
開閉制御装置では、閉鎖型配電装置は2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催を見据えた大都市再開発の動きにより、低圧開閉器・制御機器は産業用機械に使われる制御用リレーの好調により、前年同期を上回りました。一方、密閉形ガス絶縁開閉装置は国内電力向け案件の減少により、前年同期を下回りました。全体としては前年並みとなりました。

【表2】重電機器の2018年度 上期生産実績

	2018年度 上期実績		(参考)2018年度 上期見通し (2018年3月時点)	
	金額 (億円)	前年同期比 (%)	金額 (億円)	前年同期比 (%)
発電用原動機	2,181	95.1	2,751	120.0
うち、ボイラ	1,035	110.1	1,450	154.2
うち、蒸気タービン	498	56.8	587	67.0
うち、ガスタービン	648	136.2	714	149.9
回転電気機械	4,773	99.8	5,149	108.1
うち、交流発電機	441	104.4	497	116.0
うち、交流電動機	1,639	87.7	2,034	108.8
うち、サーボモータ	655	116.2	622	110.5
静止電気機械器具	3,536	101.2	3,806	109.6
うち、変圧器	1,136	113.0	1,113	110.7
うち、電力変換装置	2,026	94.4	2,345	110.2
開閉制御装置	6,692	99.6	7,219	107.4
うち、密閉形ガス絶縁開閉装置	280	81.6	382	111.5
うち、閉鎖型配電装置	943	101.8	1,003	108.3
うち、低圧開閉器・制御機器	2,540	101.9	2,610	104.6
重電機器合計	17,183	99.4	18,924	109.7

備考: 端数四捨五入のため、積上げ値と合計値が一致しない場合があります。

出所: 経済産業省 生産動態統計



出所: 経済産業省 生産動態統計

【図2】重電機器の半期別国内生産額推移

(2) 下期の国内生産動向

発電用原動機は、海外石炭火力発電向け案件の停滞による影響が懸念されます。

一方、回転電気機械、静止電気機械器具、開閉制御装置の分野を牽引している、中国を中心とするアジアでの設備投資については工場の情報化や自動化への投資を背景に、引き続き多くの需要が見込まれます。ただし、足元では米中貿易摩擦などの影響も顕在化しており、こうした停滞感が下期中どこまで継続するかは注視が必要です。

[参考] 重電機器の2018年度 上期生産実績(生産分類別)

経済産業省 生産動態統計の品目を、JEMA が受注形態別に「受注生産品」と「産業用汎用電気機器」に分けて分類しました。

【表3】重電機器の2018年度 上期生産実績(生産分類別)

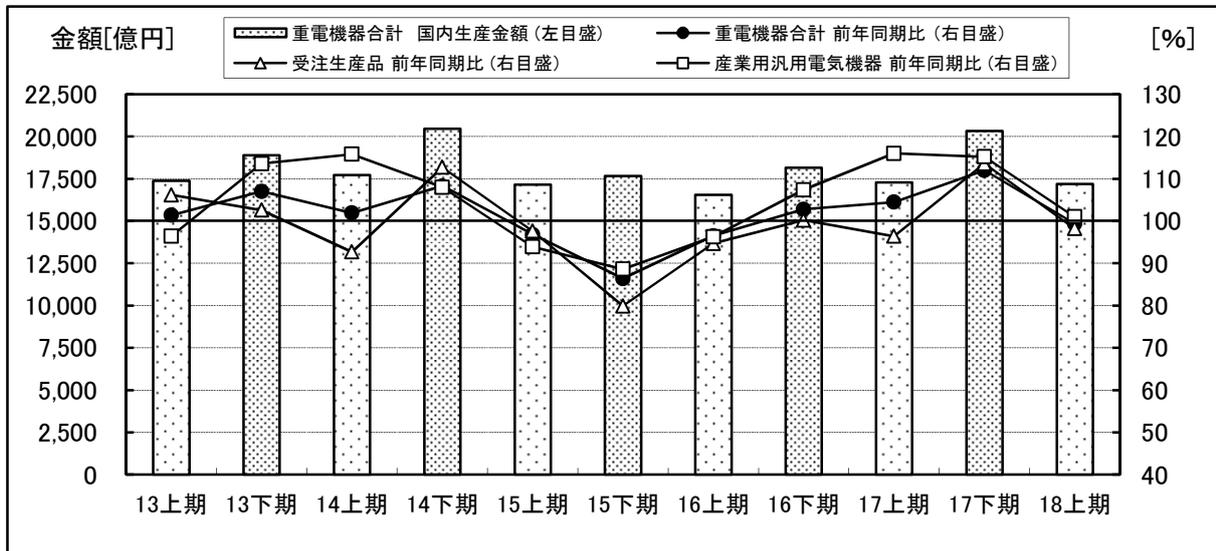
	2018 年度 上期実績		(参考)2018 年度 上期見通し (2018年3月時点)	
	金額 (億円)	前年同期比 (%)	金額 (億円)	前年同期比 (%)
受注生産品*1	6,501	98.2	7,621	114.8
発電用原動機	2,181	95.1	2,751	120.0
電力・一般産業用機器	4,319	99.9	4,869	112.0
産業用汎用電気機器*2	7,518	101.0	7,850	105.8
その他の重電機器*3	3,164	97.9	3,454	108.5
重電機器合計	17,183	99.4	18,924	109.7

備考1: 経済産業省 生産動態統計の品目をJEMAで次の通り分類しました。

- *1 受注生産品: 発電用原動機(蒸気・ガスタービン等)、発電機、大容量変圧器等。
電力及び産業用(自動車、鉄鋼等)向けの電気設備。
- *2 産業用汎用電気機器: 汎用インバータ、サーボモータ、プログラマブルコントローラ等。
需要先が多岐にわたる、主に標準仕様で生産する量産品。流通は代理店経由が多い。
- *3 その他の重電機器: 機器としては重電機器受注生産品または産業用汎用電気機器であるが、
データとして分類できない機器。

備考2: 端数四捨五入のため、積上げ値と合計値が一致しない場合があります。

出所: 経済産業省 生産動態統計



出所: 経済産業省 生産動態統計

【図3】重電機器の半期別国内生産額推移(生産分類別)

3. 白物家電機器分野

3.1 国内出荷の状況

(1) 上期国内出荷実績の概要

白物家電機器の上期国内出荷は、全国的に気温の高い日が続き、ルームエアコン等の主要製品が好調に推移しました。

製品別でみると、ルームエアコンは昨年の上期水準が高かったことから当初の見通しでは、前年同期を下回るとみておりましたが、今夏の猛暑により好調に推移しました。また、電気洗濯機は全自動洗濯機のうち、まとめ洗いに対する消費者ニーズが継続しており、大型の 8.0kg 以上が好調です。一方、電気掃除機は前年同期を下回りましたが、たて形(スティックタイプ)は好調を維持しています。ジャー炊飯器はインバウンド需要の落ち込みもあり、5 半期連続で前年同期を下回りました。

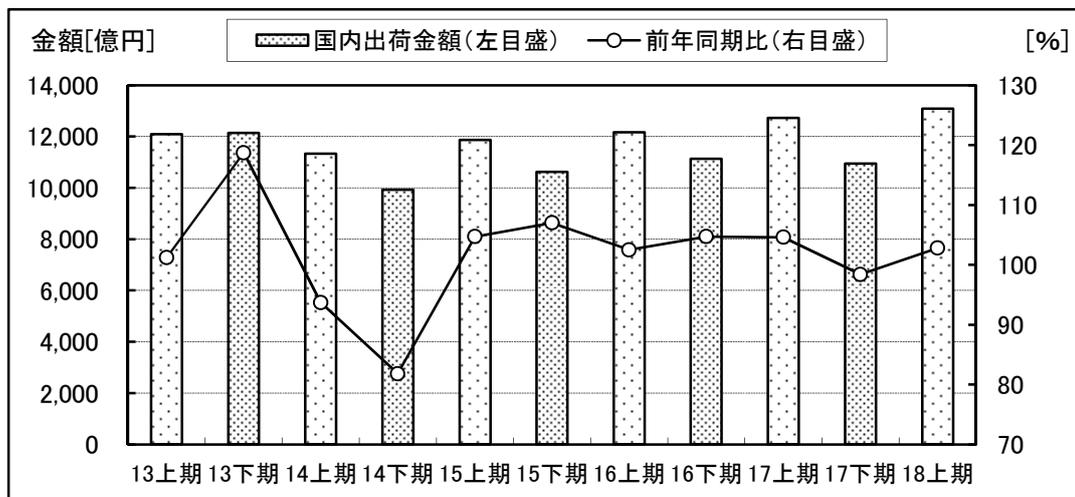
上期の白物家電機器合計の出荷額は 1 兆 3,084 億円、前年同期比 102.8%となり、過去 10 年では最も高い出荷金額となりました。

【表4】白物家電機器の2018年度上期国内出荷実績

	2018年度 上期実績		(参考)2018年度 上期見通し (2018年3月時点)	
	金額 (億円)	前年同期比 (%)	金額 (億円)	前年同期比 (%)
ルームエアコン	4,925	107.8	4,254	93.2
電気冷蔵庫	2,518	100.4	2,475	98.6
電気洗濯機	1,703	103.6	1,653	100.5
うち、全自洗8.0kg以上	1,282	105.2	—	—
電気掃除機	478	97.4	492	100.2
うち、たて形(スティックタイプ)	182	146.1	—	—
ジャー炊飯器	507	94.9	528	98.7
その他(上記5品目以外)	2,951	99.2	2,986	100.4
白物家電機器合計	13,084	102.8	12,387	97.4

備考:端数四捨五入のため、積上げ値と合計値が一致しない場合があります。

出所:日本電機工業会統計、日本冷凍空調工業会統計(ルームエアコン)



出所:日本電機工業会統計、日本冷凍空調工業会統計(ルームエアコン)

【図4】白物家電機器の半期別国内出荷額推移

(2) 下期の国内出荷動向

白物家電製品は、生活必需品として安定した需要に支えられており、また、消費者ニーズも省エネ製品・高付加価値製品への買替え傾向が継続していることから、引き続き堅調とみております。

3. 2 国内生産の状況

(1) 上期国内生産実績の概要

白物家電機器の国内生産は、消費者の高付加価値製品への買替え傾向が継続していることから堅調を維持しております。

製品別でみると、主要製品ではルームエアコン、電気洗濯機が前年同期を上回りましたが、電気冷蔵庫、電気掃除機、電気がまは、前年同期を下回りました。上期の白物家電機器合計の生産額は1兆725億円、前年同期比104.0%となり、6半期連続で前年同期を上回り、過去10年をみても高い水準を維持しました。

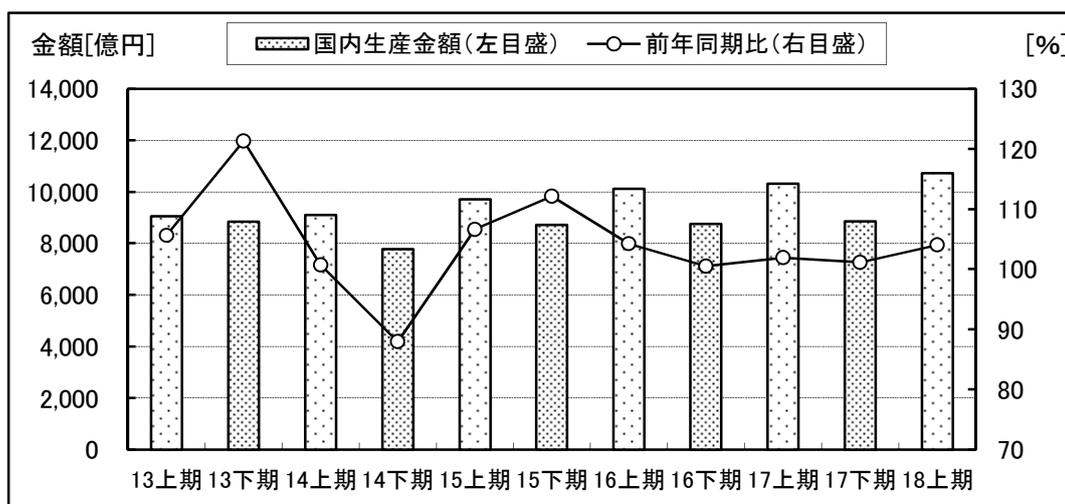
【表5】白物家電機器の2018年度上期国内生産実績

	2018年度 上期実績		(参考)2018年度 上期見通し (2018年3月時点)	
	金額 (億円)	前年同期比 (%)	金額 (億円)	前年同期比 (%)
ルームエアコン	3,532	107.1	3,298	100.0
電気冷蔵庫	1,581	94.3	1,637	97.4
電気洗濯機	383	100.5	384	100.5
電気掃除機	154	72.2	208	97.7
電気がま*	345	90.0	380	98.4
その他(上記5品目以外)	4,730	107.2	4,401	99.7
白物家電機器合計	10,725	104.0	10,307	99.4

備考: 端数四捨五入のため、積上げ値と合計値が一致しない場合があります。

*電気がま: ジャー機能(保温機能)のないものも含む。

出所: 経済産業省 生産動態統計



出所: 経済産業省 生産動態統計

【図5】白物家電機器の半期別国内生産額推移

(2) 下期の国内生産動向

白物家電機器は、国内で高付加価値製品を中心に生産しており、また消費者ニーズとして高付加価値製品への買替え傾向が継続していることから、引き続き堅調とみております。

以 上

本資料に関する弊社お問い合わせ先

統計関係

〔重電機器〕 TEL:03-3556-5885 FAX:03-3556-5890

重電部(調査統計課 市村・角田・細田)

〔家電機器〕 TEL:03-3556-5887 FAX:03-3556-5891

家電部(調査統計課 宮内・高橋)

その他 TEL:03-3556-5882 FAX:03-3556-5891

企画部(広報室 中村・竹本)

URL : <http://www.jema-net.or.jp/>